

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	8001	(H.27)No.	8001
-----------	------	-----------	------

事務事業名	省資源・省エネルギー推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	猪田 徹	

会計区分	事業コード
一般会計	(中事業名)※予算書事業名
款 衛生費	—
項 清掃費	(小事業名)
目 清掃総務費	—

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	1	省資源・省エネルギー
	小施策	1	環境負荷の低減
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
CO2排出量の削減により、環境負荷の低減を図ります。
事業内容
市民・事業所に対する啓発を実施し、省資源・省エネルギーを推進します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による啓発(エコドライブ、クールビズ・ウォームビズ・節電等)</li> <li>・「とれたて!なばり」「比奈知ダム施設見学会」「やなせ宿」への環境啓発の出展</li> <li>・小学校等での環境学習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による啓発</li> <li>・各種イベントにおける環境啓発の出展</li> <li>・環境学習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による啓発</li> <li>・各種イベントにおける環境啓発の出展</li> <li>・環境学習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による啓発</li> <li>・各種イベントにおける環境啓発の出展</li> <li>・環境学習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による啓発</li> <li>・各種イベントにおける環境啓発の出展</li> <li>・環境学習会の開催</li> </ul>

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
内訳 (千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他( )					
	一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数	職員	1.00人	0.81人	0.87人	0.87人	0.87人
	臨時職員等		0.03人	0.03人	0.03人	0.03人
②概算人件費	(0千円) 7,600千円	6,207千円	6,663千円	6,663千円	6,663千円	
①+②総事業費	(0千円) 7,600千円	6,207千円	6,663千円	6,663千円	6,663千円	

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
環境学習会の開催について、充実した取組が出来ました。また、クールビズ、緑のカーテン、エコ通勤等の取組により、省資源・省エネルギー型の生活スタイルの啓発をすることができました。	三重県地球温暖化防止活動推進員を活用して、省資源・省エネルギーの啓発を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	循環型社会の創造及び地球温暖化防止に貢献しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	環境学習会の地域主催での開催を検討します。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
環境学習会等の啓発活動を通じて、省資源・省エネルギーへの意識が高まりつつあります。	なばり快適環境プラン